

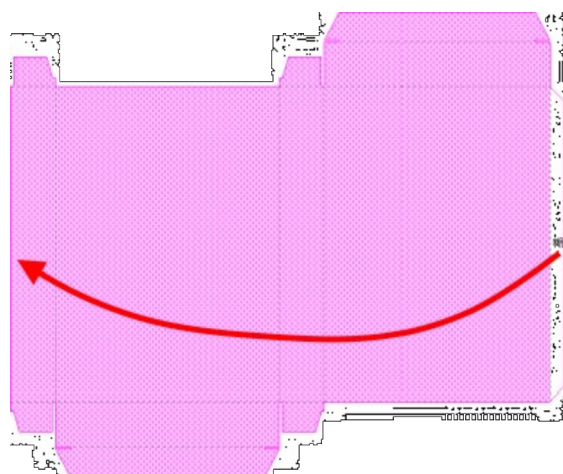
小箱展開図作成 Ver4.1 工作説明書

まずは、「小箱展開図作成」ソフトで、オリジナルデザインの小箱の展開図を作成します。（詳細は取扱説明書をご覧ください。）

- 1) 0.2～0.27mmの厚さの厚紙をプリンターにセットし、小箱の展開図を印刷します。
印刷方法は、取扱説明書をご覧ください。
- 2) 透明カバーフィルム(A4)を貼り付け、外形線(ー)をカッター又は、はさみで切り取ります。
切込み部分も忘れずに切ってください。窓穴を付けた場合は、窓穴も切り取ります。
- 3) 点線を山折りします。
点線部分に定規を当て、先の尖った物で点線に沿って筋を入れると簡単に折り曲げできます。
- 4) 窓穴を開けた場合は、裏から窓穴より大きい四角い透明フィルムを接着します。
- 5) [糊]の白面に糊又は接着剤を塗り、下記矢印の箇所の裏面に貼り合せます。
- 6) 糊(接着剤)が乾いてから、小箱の蓋を閉じて完成です。

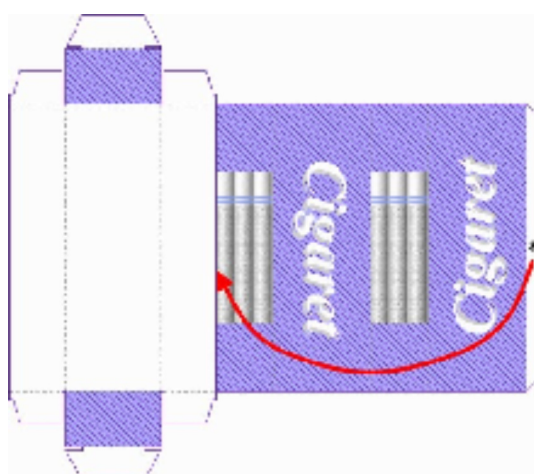
●普通箱

普通の箱です。



●スリーブ箱

マッチ箱の様な箱です。

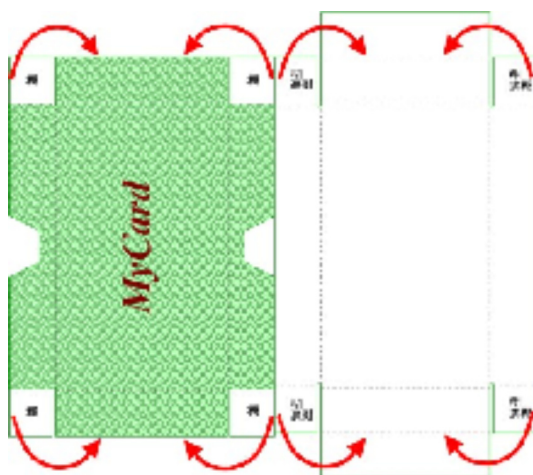


●蓋付き箱

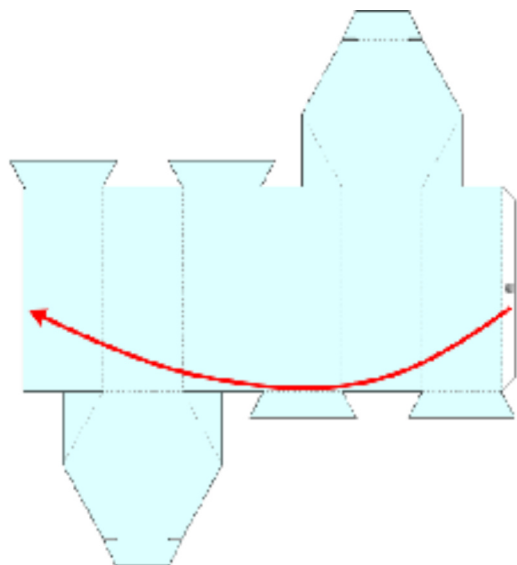
硯箱や衣装ケースみたいな、蓋を被せる箱です。

蓋

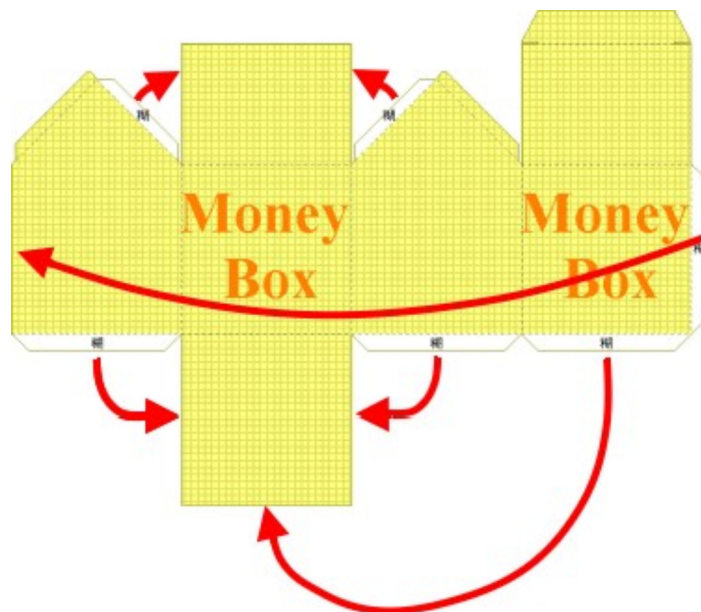
箱



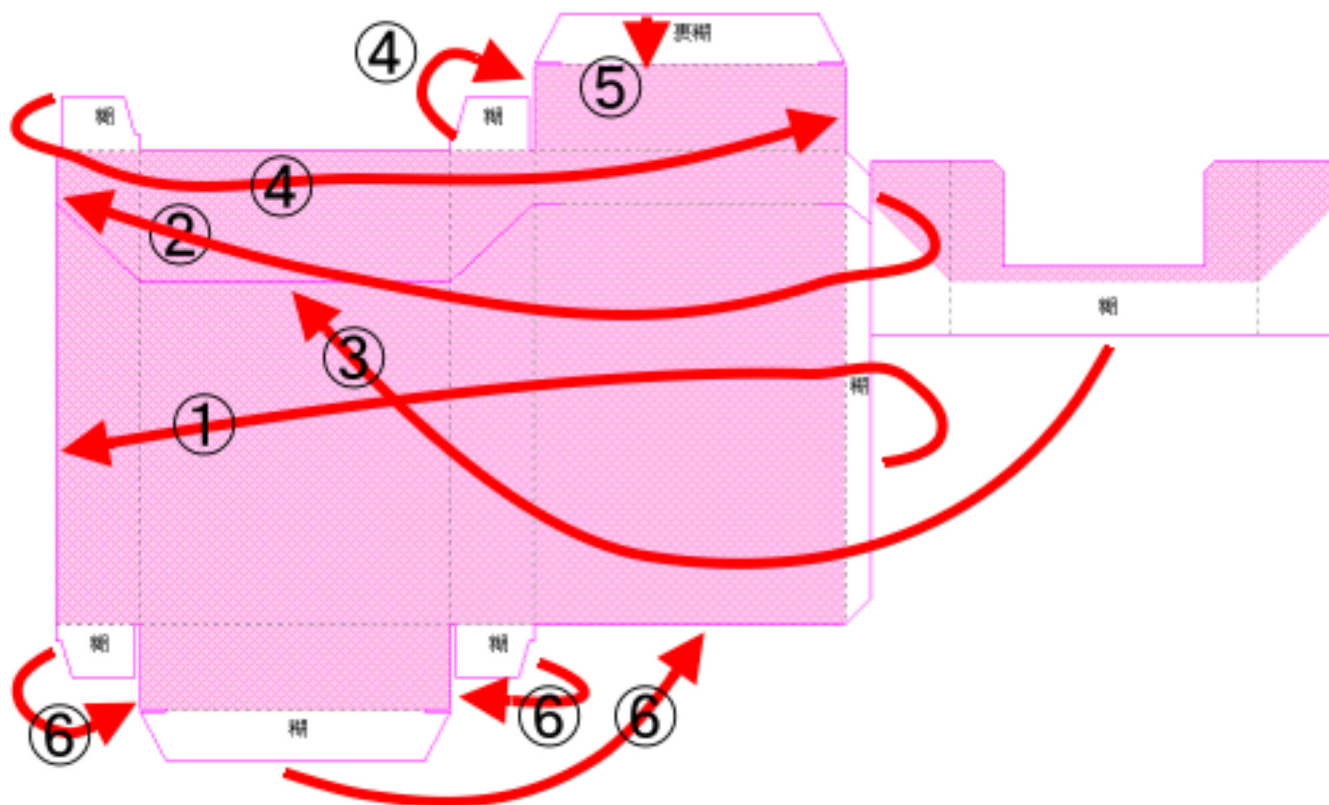
- 六角箱
六角形の箱です。



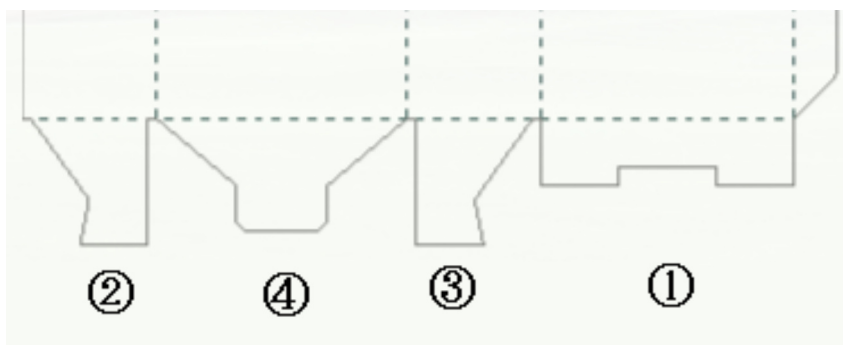
- 屋根付き箱
三角屋根の箱です。



- 分割箱
お洒落なチョコレートや、タバコの箱です。番号順に貼り付けて下さい。



- 底組（共通）
左記の順番に折り曲げます。
④を①の凹みに差し込みます。



●ワンタッチ底普通箱

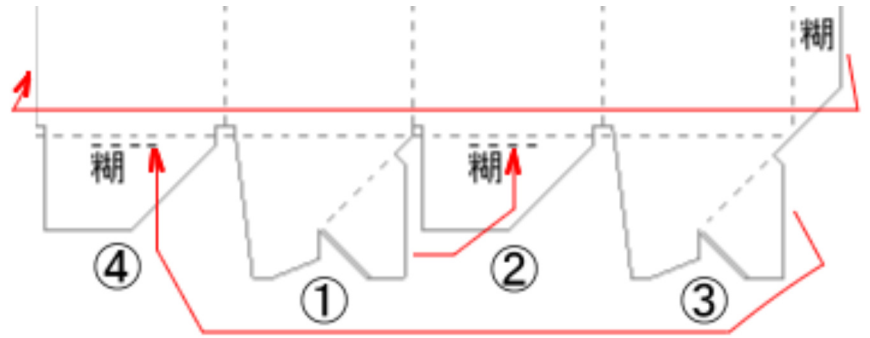
①と③の点線は下記の貼付けが終わるまで曲げません。

①右縁を②の「糊」の上の点線に合わせて貼り付けます。

③右縁を④の「糊」の上の点線に合わせて貼り付けます。

全ての糊付が乾いてから①と③の点線を谷折りして、箱を潰します。

箱を膨らませて①と③を掛け合わせると完成です。



●側面差込普通箱

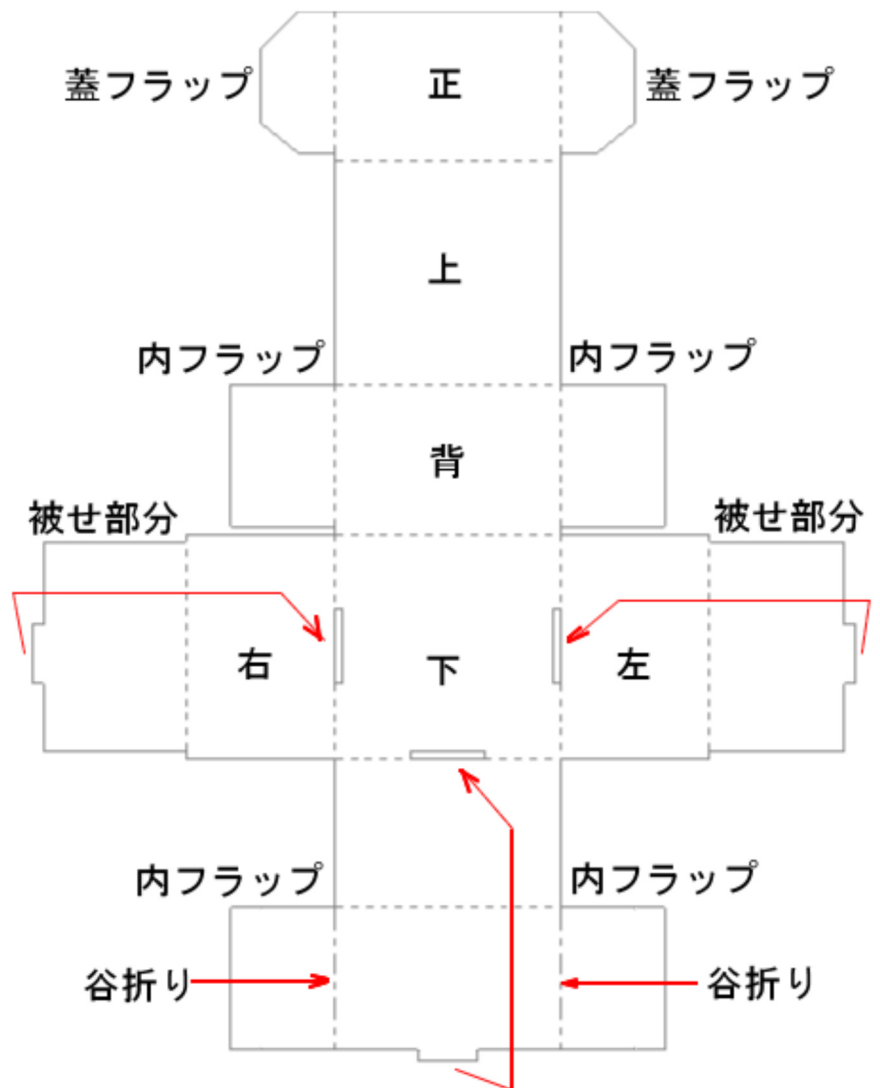
谷折り以外の点線を山折りします。谷折り部分も折り癖をつけておきます。

右と左の内側に「内フラップ」を置きます。

「被せ部分」を曲げて「内フラップ」を抱え突起部分を溝に差し込みます。谷折りした部分の突起も溝に差し込みます。

「蓋フラップ」を「被せ部分」の「内フラップ」の外側に差し込みます。

「下面」のスリット穴(3ヶ所)の切り抜き忘れのない様、ご注意ください。



左と右は正面から見ての左右となります。

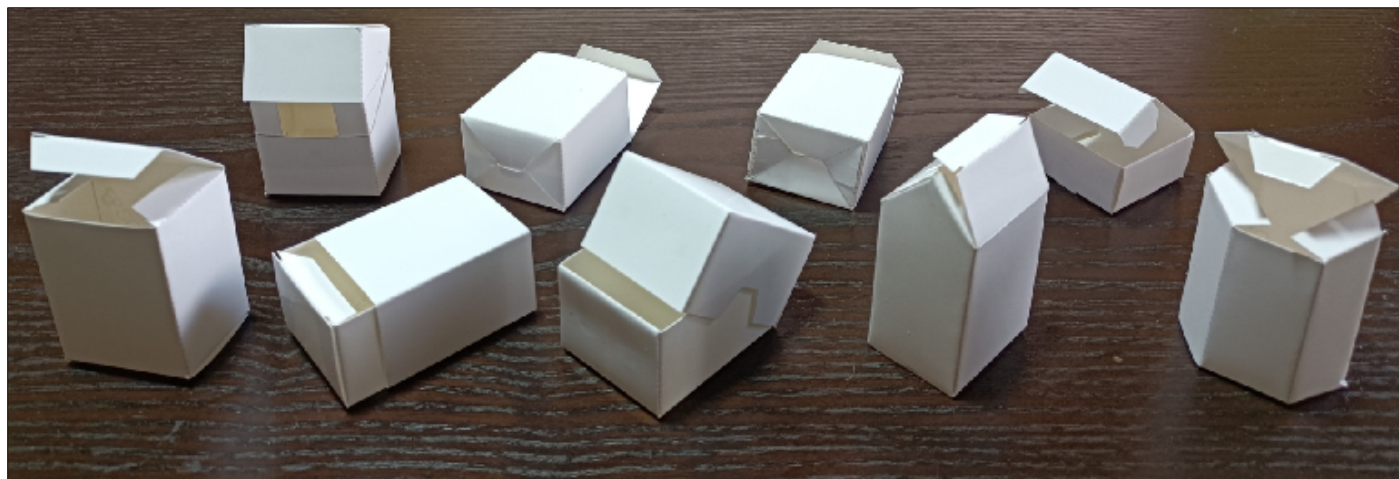
- 厚紙に印刷し、透明カバーフィルムを貼り付けて工作すると、丈夫な箱に仕上がりが、水滴が付いてもインクが滲みません。
- 細かい箇所をカッターで切る時は、指や手を怪我しないように充分注意してください。
- 折り曲げ部分は、点線部分に定規を当て、先の尖った物で点線に沿って筋を入れると簡単に折り曲げできます。

⑥

⑦

⑨

⑩



①

②

③

④

⑤

- ①普通箱 ②スリーブ箱 ③蓋被せ箱 ④屋根付き箱 ⑤六角箱
 ⑥分割箱 ⑦底組普通箱 ⑨ワンタッチ底普通箱 ⑩側面差込普通箱

———注意事項———

▼下記の注意事項にご留意ください。

作成した小箱の取り扱いについて

重量物は、入れないで下さい。底が抜けて、中身が破損する可能性があります。

飲食物は、直接入れないでください。衛生上良くありません。

精密機器(部品も含む)を入れないで下さい。落としたり、衝撃を与えると故障したり、破損します。

引火物や危険物を入れないでください。

このソフトは、フリーソフトウェアです。

著作権は、私(HotCakeSoft)にあります。

コピーは自由ですが、大量配布や雑誌での配布の場合、私の許可が必要です。

改変や一部のコピーをしないでください。

このソフトウェアをパーソナルコンピューターへのインストールやその後、使用することによって生じるいかなる損害、障害、事故に対して私は、責任を負いません。